

# まちのあしたをデザインする 市民協働最前線

File 5

まちづくり協議会(住民自治協議会)は地域で活動するさまざまな主体のネットワーク組織です。その活動は、それまでの地域活動を発展させたものや、その土地ならではのアイデアにあふれたものなど、さまざま。各協議会の皆さんから、その活動の一端を、ご紹介いただきます。



まち協  
自治協

Q&A

**Q** すべての地域に協議会があるの？

**A** 協議会は、おおむね小学校区単位で設立され、3小学校区(佐原小、香取小、神南小)を除いた地域で、21協議会が活動しています。

**Q** 実施する事業はどうやって決めるの？

**A** まず活動方針などをまとめた「まちづくり計画」を策定します。この計画に基づき、地域の課題を解決するための具体的な事業を協議会が自ら企画しています。

年度初めに協議会が開催する定期総会で、1年間の事業計画や予算の承認を得て決定します。

平成29年度は、185事業が計画されています。



## 子どもたちを感性豊かに 育成地区まちづくり協議会

設立年月：平成27年3月  
会長：平野 庄一(大崎)



協議会会長  
平野 庄一(大崎)

育成地区は香取市の西部に位置し、地形的には水田地帯と台地や畑が広がる緑豊かな自然が息づく地域です。

育成地区まちづくり協議会は、育成小学校との連携を核にした事業に取り組み、子どもと大人、各地域間の人との交流を推進しています。その中で二つの活動を紹介します。

一つは創立記念日に行う「芸術鑑賞会」です。創立記念式に参加すること

によって、子どもたちの成長を見て喜び、小学校のますますの発展を祈念します。その後、プロの音楽演奏や劇団の劇を鑑賞します。これらを鑑賞しながら、子どもたちと同じ感動を共有するひとときを持つことが大切だと感じています。

もう一つは、「親子三代育成っ子まつり」です。これは、子どもたちの活動を側面から支援する事業です。子どもたちの手作りゲームや模擬店などで子どもたちと楽しく触れ合います。帰りにお土産として、協議会の役員が作った焼き芋とサツマイモスティックを差し上げています。ちなみに、サツマイモは子どもたちが地域のお芋の先生に教えていただき、育てたものです。

これらの事業に、まんまる保育園と香西保育所の幼児や、なのはな苑デイサービスの利用者さんが参加してくださるなど少しずつ輪が広がっていることに喜びを感じています。宝物の子どもたちを育てる地域の力をさらに高める活動を展開したいと考えています。

# 地域の絆を深めるために

## 一山小学区まちづくり協議会

設立年月・平成24年3月  
会長・木内 健次郎(大角)



広報紙等発行  
実行委員長  
林 浩美(小川)

「いちやまさんぽ」は、親しみやすいネーミングで一山小学区まちづくり協議会の恒例となっている行事です。事業の基本は、地域内を回る5〜6kmコースを歩く「健康交流ウォーキング」ですが、併せて「炊き出し訓練」や「花いっぱい運動」を同時開催しています。

ハイゼックス炊飯袋を使った炊飯体



験や「花いっぱい運動」での花の球根配布などは、参加者にとって楽しく有意義なイベントとなっています。毎年秋に開催され、今年で5回目となりますが、すっかり地域に定着し、世代を超えた交流の場となっています。

昨年は、地域の方々の協力を得て、豚汁やカレーの炊き出しも行われました。参加者は白米と水をハイゼックス炊飯袋に入れて閉じ、自分の食べる白飯の準備をすることから始まりました。その後、全員で準備運動と歩き方の指導を受け、80余人の老若男女が賑やかにウォーキングを開始しました。

自然いっぱいのコースを歩くと、近くにあっても知らなかったところや、気付かずにいた美しい風景に出会うことができ、地元のよい点を再認識します。また、炊き出しや非常食の体験をしながらの交流は、いざという時のための地域の絆を深める一助にもなるのではないかと感じています。

※今年の「いちやまさんぽ」は10月21日(土)に開催予定

# 映像で強まる一体感

## 高萩地区住民自治協議会

設立年月・平成23年11月  
会長・本宮 敏雄(高萩)



協議会会計  
玉造 清子(高萩)

高萩地区住民自治協議会は、高萩本区、上ノ台、受所、中峰の4地区、約1500人の住民により構成され、香取市の中で最も農村らしい地域と言えます。

当地区はこれまで、室町の時代から脈々と続く農村地区でした。

農村であるがゆえに住民は平素から地域に密着し、住民同士が互いのプライバシーの壁を意識することもない親密な付き合いをして地元の絆が保たれていました。

ところが最近では住民の多くがサラリーマン化し、勤務時間や勤務場所も異なり、所属する会社中心の社会を形成する傾向が強くなり、地域を挙げての盆踊りや体育行事などが消滅してしまいました。

そこで我が住民自治協議会が知恵を絞った結果、住民同士の連帯感を共有するために、芋煮会、健康ウォーキングなどの皆が集まるイベントを実施した時には努めて集合写真やビデオ動画を撮影し、DVDに収録してみんなに



配布しております。その結果、時間が取れずイベントに参加できなかった人があたたかも参加したかのような効果が生まれました。これにより地域の一体感が強まったと自負しております。今後も継続して写真・動画を活用していきたいと思えます。